

蓄養ウニ品質分析研究

ウニの可食部は生殖巣であることから、成熟度合いによって品質が大きく異なります。通常8月上旬頃までが収穫盛期とされていますが、この時期を遅くまで伸ばすため、水温の低い深場で蓄養することにより、成熟を制御できないか検討しています。また、短期的な蓄養技術の確立により天候や海況に左右されない安定的な流通体制の実現性に関する検討を行っています。



ウニの計測

様々な条件で蓄養したウニの殻長、生殖腺重量等を測っています。

成熟の進み具合を観察する



成熟が進みすぎ食用にむかないウニ

内臓などを除去し、生殖腺だけにしています



味、におい、食感等の調査



各水深毎に蓄養していたウニを引き上げるところ

研究室内での飼育

